

## ◇第5回検討会での検討委員の意見

## ●評価の方法に関する意見

1	○×△や点数で評価することに納得できない。生活者の立場からの評価の仕方を工夫する方法があったのではないかな。
2	もっと多くの率直な意見を皆で話し合いたい。
3	意見シートの取り扱いについては、事務局が分析して、評価をしていくのが良いかなと思う。
4	評価軸を作って何かを絞っていかなければならないということは、パターンを選ぶ以上必要だと思う。
5	点数として評価していくところが、本当にABC評価だけだろうかという視点の部分を先に議論したほうが良かった。
6	○×△で評価するのはおかしいと思うが、何かしらの評価軸があるべき。
7	シナリオを絞っていくことが必要になる中では、点数など何かしらの評価軸を作ることに賛成。
8	ただし、○×△で×がつくと、そこに対しレッテルを張っているようなイメージになるので、見方は変えても良いのではないかな。
9	すべての課題が平等に評価されていることに違和感を感じる。優先順位をつけて課題を評価することも必要ではないかな。
10	○×△ではなく、初めから点数で評価するのはどうか。(マイナス点はなし)
11	点数化とABC評価をつけて絞っていくのは大事だと思う。
12	今回の評価方法のように、細かく項目に分類してポイントを付けて評価し、総合評価をするのが一般的な方法なので良いかなと思う。
13	シナリオのそれぞれの設定の図が、具体化しすぎてしまっているので、注釈などつけるべきだと思う。
14	この表の進め方、点数付け、評価外至るまでの一連の進め方について、もう少し丁寧に進める方法があったのではないかなと思う。
15	シナリオを絞っていくことは必要と思っているが、今選ばれている課題が、再開発する側に有利な課題が多いと感じる。
16	この検討会に与えられたミッションは「土地利用や施設整備の方向性を定めていく」ことであるので、方向性を絞り込んでいく作業が必要になるし、絞り込んでいくためには評価が必要になると思う。
17	また、多くの方の納得性を得られるかということを考えると、客観的な評価とということ、絶対評価ではなく相対評価が必要なのではないかなと思う。

## ●中間報告に関する意見

1	中間報告が、重点区域の議論の折り返し時点の評価という意味であれば、密度の部分では折り返しではないと思う。
2	この先、周辺区域の議論とどう展開されていくのか、今現在の議論の時点が分かりにくいので可視化する必要がある。
3	中間報告で何をどこまで出すのかというのを、もう一度議論する必要がある。
4	絞り込むためには、相対評価が必要になってくると思うが、中間報告で何を指すかによっては、絶対評価のまま出すこともあり得る。
5	中間報告とシナリオを絞ることは別で考えて、中間報告はこれまでの見解を出すし、今後はシナリオを絞り込んで深い議論ができるようにする進め方も良いと思う。

## ◇第5回検討会での検討委員の意見

### ●期間に関する意見

1	意見シートが送られきたのが検討会の一週間前で時間がなかった。
2	先に課題の説明があったうえで、評価して宿題として持ってくるという説明が必要だったと思う。
3	事前に説明がない中で1週間は厳しかったと思う。
4	説明を聞いて、検討会でいろんな方の意見を聞いてから意見シートを書きたかった。
5	自治会を代表して出てきているので、自治会長と相談する時間が欲しかった。
6	大量の情報量であるので、これを理解するには時間が短かった印象はある。
7	期間については、個人個人の受け止めがあると思うので、意見シートの対応については柔軟な対応を事務局にお願いしたい。

### ●評価内容についての意見

1	シナリオ5③はミッション1は最高得点となっている。次の世代に承継すべきまちづくりを進めるためには、困難なことを乗り越えて考える必要があると思うので、ミッション2・3が空欄のまま評価するべきではない。
2	シナリオ5②は工期がかかることになるが、子供たちをいつまでも仮校舎にさせざるわけにはいかないだろう。修繕や将来的な建替えの問題も含めて小学校とマンションが一緒になるのはいかがなものか。
3	文化的なことや歴史的事実の部分では、観光物件などは古くなるから良くなるものもある。逆に古くなるから現状維持は衰退と考える部分もあり、その両側面がそれぞれの項目で見られているのかが疑問。
4	シナリオ2については、建て替わるのが遅くて問題解決を図るのが難しいと評価されているが、助成金が出ればもっと早く問題解決できるのではないかなと思う。
5	再開発は駅前じゃないとなかなか成立しない、小学校は環境的にも他に移転しても支障がないのではないかな。
6	シナリオ2については、客観的に様々な情勢、社会の変化を考えたときに不可能だと誰でもわかる。
7	「まちの魅力を高める公共空間」ということで、赤羽小学校や赤羽駅前の商店街を含めた赤羽の顔が、あまり良く評価されていないように感じる。区内や区外から連日多くの方が来たり、馬鹿祭りなどもあり、公共性があり魅力あふれる駅前広場となっているので、シナリオ1・2・3のあたりで、赤羽小学校の評価も含めてもう少し高い評価をしてもらいたい。
8	小学校については、他の地区に移しながら、子供たちにできるだけ影響を与えないことが大事なのではないかなと思う。
9	シナリオ5③については、移転先がないとしても、検討の遡上に残してほしいと思う。
10	シナリオ5③については、移転候補先があったとした場合、ブランクになっている部分がこういった評価になるのか、この検討会の場で見極めていった上で、最終的な判断をしていった方が良いかなと思う。
11	シナリオ5③については、移転場所がない中で教育環境の良し悪し等々について評価するのは難しい。
12	学区を変えろということは、別の学校の学区も変えていくことになるため、まちづくりの話とは別に学校の在り方についての議論をする会議体が必要になる。統廃合の協議などはおおむね2～3年かけて決めていく。